

令和5年4月18日（火）

芦屋市立美術博物館

2022年度 事業報告書

小学館集英社プロダクション共同体

芦屋市立美術博物館

1 展示事業

(1) 常設・企画展

名 称	期 間	観覧者数
・北原照久コレクション展 —おもちゃ! 広告! 驚きと感動と心温まる物語— ・コレクション小企画 (歴史資料展示室) 「美術の手ざわり—記憶にふれる」	4/16-6/19	4,637 名

常設・企画展合計 4,637 名
総入館数合計 5,170 名

*令和4年7月1日(金)～令和5年3月31日(金)まで、「機械設備等改修工事」のため、休館。

2 教育普及活動

(1) 展覧会関連事業

名 称	内 容	開催月日	参加者数
「北原照久コレクション展—おもちゃ!」展 関連事業			
○「北原照久とめぐる展覧会ギャラリートーク &サイン会」	展示のコレクションに隠されたエピソードを北原照久自ら紹介。そしてサイン会。	4/16	35名
○「ASHIA TOUCH ART&MUSIC VOL.1 ベーゼンドルファーを弾いてみませんか?」	当館の所蔵ピアノ「ベーゼンドルファー」を希望者に弾いてもらうイベント	5/15	43名
○「当館学芸員によるギャラリートーク」	当館学芸員	4/29 5/5 6/5	16名 40名 17名
「美術の手ざわり—記憶にふれる」(併設) 関連事業			
○ワークショップ「思い出の手ざわり—絵葉書を書こう」	担当：当館学芸員	5/21	6名
○ワークショップ「絵具の手ざわり—伊藤継郎の描き方を体験しよう」	担当：当館学芸員	6/4	10名
○ポスター鑑賞会「デザインの手ざわり—ポスターの秘密に迫る」	担当：当館学芸員	6/18	16名
○「当館学芸員によるギャラリートーク(美術)」	担当：当館学芸員	4/30 5/28 6/19	7名 8名 12名

(2) 講演・講座等

名 称	内 容	開催月日	参加者数
○「北原照久とめぐる展覧会ギャラリートーク &サイン会」	展示のコレクションに隠されたエピソードを北原照久自ら紹介。そしてサイン会。	4/16	35名

(3) ワークショップ等

○ワークショップ「思い出の手ざわり—絵葉書を書こう」	担当：当館学芸員	5/21	6名
○ワークショップ「絵具の手ざわり—伊藤継郎の描き方を体験しよう」	担当：当館学芸員	6/4	10名
○ポスター鑑賞会「デザインの手ざわり—ポスターの秘密に迫る」	担当：当館学芸員	6/18	16名

○「当館学芸員によるギャラリートーク」	担当：当館学芸員	4/29 5/5 6/5	16名 40名 17名
○「当館学芸員によるギャラリートーク(美術)」	担当：当館学芸員	4/30 5/28 6/19	7名 8名 12名

(4) その他の事業【休館中の活動】

○「ライブイベント「music/museum」」	休館中の一日を利用し、美術博物館そのものを体感するイベント。音楽家によるライブ、学芸員による館内見どころツアーを実施。 協力：night cruising 出演：moshimoss, 内田輝/Akira Uchida	7/3	227名
○「動物園スケッチ会—どんな色、姿？自分だけの動物を描こう！—」	小学生以上を対象に神戸市立王子動物園でのスケッチ会。自由に描きたい動物を選び、表したいポイントを考えながら思い思いに描く企画。	7/17	6名
○教育普及事業 「芦屋市立山手山手小学校での出前授業」	4年生が体験したワークショップ「いろいろな塗り方で絵具カード作り」では、本校が所蔵する画家・伊藤継郎の作品を鑑賞し、伊藤のように筆以外の様々な道具「ヘラ、ペインティングナイフ、クシ、フォークなど」を使って、多彩な色彩と質感に満ちた独自の絵具カードを制作。5年生のワークショップ「コラージュでオリジナルの作品をつくろう」では、どんな作品をつくりたいかイメージした後、チラシから素材を切り抜き、紙や透明シートに張り付け、コラージュ作品を制作した。複数の透明シートを重ねたレイヤーの効果も楽しく、オリジナルの作品を生み出した。	1/26 1/30 1/31 2/1	午前 午前 午前 午前
○市広報誌「広報あしや」(毎月1日発行) コラム連載「あしや芸術さんぽ」	芦屋の風景が描かれた館蔵品などを元に、芸術家達が切り取った芦屋と現在の風景を紹介するコラムを連載。芦屋で結成された具体美術協会によって野外展が行われた芦屋公園、小出楯重の描いた仏教会館など、芦屋ゆかりの芸術家たちと芦屋の風景の関わりを学芸員が紹介。当時の芦屋の風景と現在の風景の比較も興味深いコラムとなった。	8月号 9月号 10月号 11月号 12月号 1月号 2月号	
○美術博物館ホームページ掲載 「学芸員 コラム」	学芸員によるコラムを毎月1日も掲載。展覧会の報告、芦屋の戦国時代の文化財、「芦屋カメラクラブ」の誕生についてなど、美術・歴史両部門と多岐にわたる内容。	8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月	
○Twitter	Twitter アカウントにて、イベント告知、コラム掲載のお知らせ、館内や前庭の様子、所蔵作品の他館での展示について、日々つぶやきを更新。		

○図録・書籍の通信販売	休館中は館内にて販売することができないため、ホームページにて過去展の図録や書籍の一覧を掲載。電話、メールにて注文を受付。開館後も継続予定。		
-------------	-----------------------------------------------------------------------	--	--

2 収蔵作品の貸出と借受の記録（歴史・美術）

（1）貸出

展覧会名	貸出先	会期
○「酒づくりのスタート 精米」	白鹿記念酒造博物館	7/16～11/20
○「時を超えるイヴ・クラインの想像力 —不確かさと非物理的なるもの」	金沢 21 世紀美術館	10/1～3/12
○「すべて未知の世界へ—GUTAI 分化と統合」	大阪中之島美術館、国立国際美術館	10/22～1/9
○「Japan. Body_Perform_Live. Resistenza e Resilienza nell'arte contemporanea giapponese」	Padiglione d'Arte Contemporanea (イタリア・ミラノ)	11/22～2/12

（2）借受

2022 年度の借受は無し